

ETK2223074

適応可能線材 寸法	
角型ケーブル	1.6+/-0.1 × 2.0+/-0.1 mm, 2.0+/-0.2 × 2.0+/-0.2 mm 2.0+/-0.2 × 2.6+/-0.2 mm, 2.0+/-0.2 × 3.1+/-0.2 mm
丸型コード	1.7+/-0.2 mm, 2.0+/-0.2 mm, 2.8+/-0.2 mm
ファイバ素線	0.25+/-0.015 mm, 0.9+/-0.05 mm

※注) 0.9mm心線は内蔵する0.25mm心線を露出することができる構造であることが必要条件です。

⚠ 安全にお使い頂くために

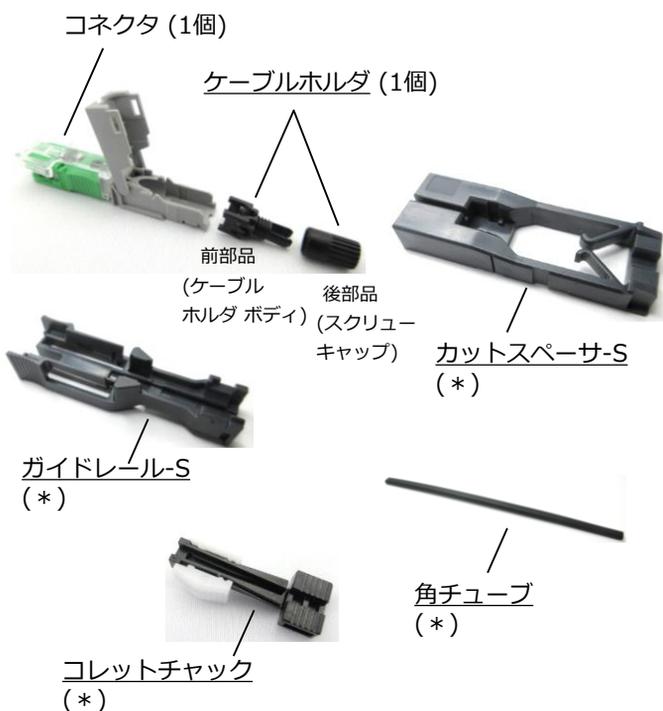
本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし、間違った使い方をすると、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守りください。

- ★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は **安全メガネを着用** してください。
- ★コネクタ端面や光ファイバ端面を **のぞき込まない** てください。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意してください。
- ★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意ください。(リストストラップ等をご使用ください)

⚠ 必ずお読みください

- ①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用ください。
- ②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。
- ③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用ください。
- ④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行ってください。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。
- ⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**でください。
- ⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**でください。

構成部品



* : 付属品の数量はコネクタ品名により異なります。

推奨組み立て工具

1. ファイバカッタ



FC-8R-MC

2. ジャケットリムーバ



JR-M03

3. 精密ニッパ



4. FAC組立確認キット



※当社推奨可視光源使用

[1] コネクタを挿入ガイドにセットする



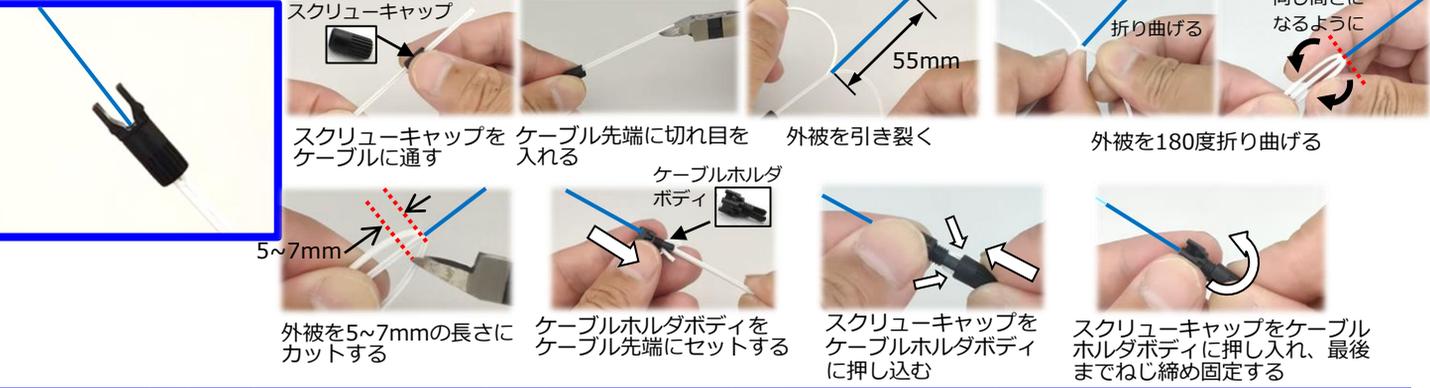
[2] ケーブルホルダをセットする

CASE1 角型ケーブル

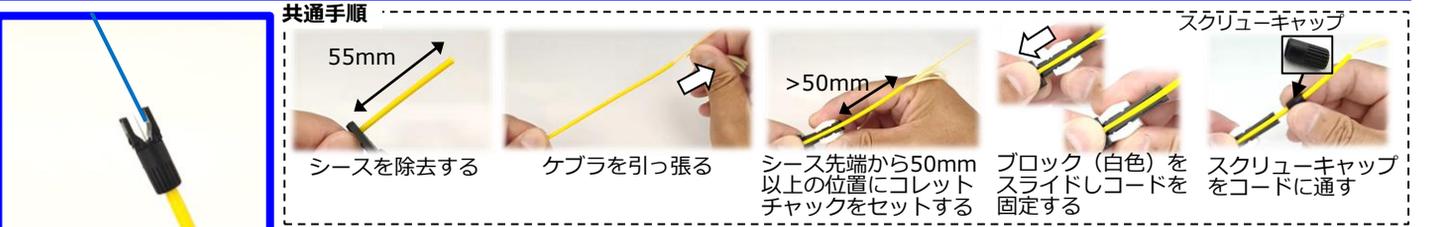
[2×3.1mm, 2×2.6mm ケーブル]



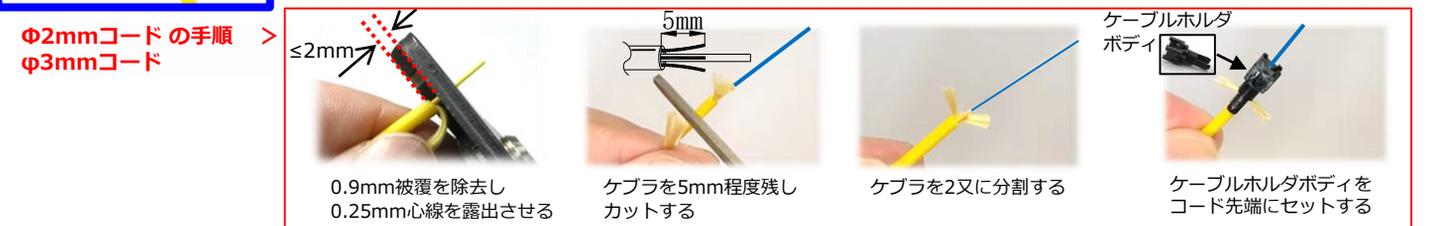
[1.6×2mm, 2×2mm ケーブル]



CASE2 丸型コード (φ3mm コード / φ2mm コード / φ1.7mm コード)



φ2mmコード の手順 > φ3mmコード



φ1.7mmコード の手順 >



CASE3 ファイバ素線 (0.9mm ファイバ / 0.25mm ファイバ)

チューブにファイバを通す

55mm

<15mm

3mm (チューブの長辺)

ブロック (白色) をスライドしチューブを固定する

0.9mmファイバの場合、0.9mm被覆を除去し、0.25mm心線を露出させる

スクリーキャップ

ケーブルホルダボディ

スクリーキャップをチューブに通す

ケーブルホルダボディをチューブ先端にセットする

スクリーキャップをケーブルホルダボディに押し入れ、最後までねじ締め固定する

[3] φ0.25mmファイバを被覆除去する

ケーブルホルダをカッターにセットする

隙間なきこと

隙間なきこと

引く

8~10.5mm

25~25.5mm

±30°程度

[4] ファイバカット

無水アルコールを付けたガーゼで数回拭き、被覆層を取り除く

<ファイバカット手順> ※当社製 FC-8R-MC 使用の場合

④カバーを押す

①スライダを押し込む

②カッターを乗せる

③カッターを突き当てる

ファイバ先端の位置 (溝の範囲内)

ファイバ剥き際の位置範囲

寸法確認 (寸法があてない場合は再度、端末処理)

[5] ファイバ挿入

ケーブルホルダを挿入ガイドにセットする

ケーブルホルダの角を上図の位置に合わせる

コネクタにファイバを挿入する
ファイバ先端が穴に確実に挿入できるようにゆっくりとホルダを前進させる

カチッ!

カチッ!

カバーを閉じる

クサビを取り外す

ファイバのたわみは残ったままです
たわみが大きく、ホルダより飛び出ている場合は新しいコネクタで最初からやり直してください

[6] 完成

[丸型コード/ファイバ素線の場合]

完成

ガイドレール-Sからコネクタを取り外す

コレットチャックを取り外す

挿入ファイバの突き当て状態を可視光で確認できます

正常状態

通光不具合の可能性あり

※住友推奨以外の可視光源を使用した場合、光出力が違い、正常に判定できない場合があります